環境負荷軽減に向けた活動

富士ソフトは1998年8月、独立系ソフトウェア企業としては日本で初めて環境保全活動の国際規格である「ISO14001」の認証を取得しました。

「アマゾンの緑を守る」を環境理念に掲げ、美しい自然に恵まれたこの地球環境と資源を次世代に引き継ぐため、環境保全への取り組みを経営課題の重要項目の一つとしてとらえ、資源の保護を推進し、継続的な改善を図っています。

環境に対する考え方

【環境理念】

アマゾンの緑を守る

【環境方針】

美しい自然に恵まれたこの地球環境と資源を次世代に引き継ぐため、
環境保全への取り組みを経営課題の重要項目の1つとしてとらえ、
持続可能な国際社会の創造に貢献していく。

【行動指針】

(1) ICTの発展により脱炭素社会の創造に寄与する
(2) 環境の法規制及び周辺地域の環境条例、その他当社が同意する協定等の要求事項を遵守し、それらに沿った環境管理を行う
(3) 国際社会との共生、地域社会との共生を図る
(4) 社内外のステークホルダーとの積極的なコミュニケーションを行う
(5) 社員ひとりひとりは企業活動の内外にかかわらず、環境負荷軽減に向けて行動し、継続的改善に取り組み、汚染の予防及び地球環境保全に貢献する

当社プロダクトによる環境負荷軽減への取り組み事例(moreNOTE)

「moreNOTE」を活用し、1年間で約1,600万枚のペーパーレスを実現

当社の社内会議や資料確認では、完全ペーパーレスを実現しています。こうした際の書類の共有に威力を発揮するのが、自社開発製品であるペーパーレスシステム「moreNOTE(モアノート)」です。活用の結果、当社では1年間で約1,600万枚相当のペーパーレス化※を達成しました。当社は、地球温暖化を重要な課題ととらえており、自社開発製品及びソリューションを社会に広く提供することにより、これからも環境負荷軽減に貢献していきます。

※ペーパーレス化の効果は、moreNOTEの「GreenAction(グリーンアクション)」という機能で確認できます。



ペーパーレスを見える化した機能「GreenAction」の画面

持続可能な社会への取り組み

当社は、環境・社会への価値追求と事業活動そのものを統合させ、さらにリスクマネジメントを徹底するために、これまでCSRを推進してきた部門を、2022年に「サステナビリティ推進部」として新設し、環境負荷軽減への取り組みを強化しています。

気候変動に起因する豪雨災害・森林火災などの災害から農業・水産業などの産業への影響が深刻さを増しています。このような地球環境の危機的状況下において、ITを活用した課題解決に対する期待が高まっており、当社内の環境への負荷軽減への取り組みと、ICTの発展により脱炭素社会の創造に努めてまいります。

TCFDへの取り組み

気候変動対策として、取締役会がハンドリングする「サステナビリティ会議」を設置し、サステナビリティ推進体制を構築、中長期的な企業価値向上とサステナビリティへの取り組みを結び付け、全社的な活動として取り組んでいます。重要事項については、取締役常務執行役員を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」で審議のうえ、サステナビリティ会議を経て取締役会で承認しています。

このサステナビリティ推進体制のもと、TCFD※の提言に従い、2023年度には、当社における「リスク管理」「戦略」「指標と目標」を順次開示してまいります。

※TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)
2015年に金融安定理事会(FSB)より、金融市場において気候変動が重大な影響をもたらすことが認識され、企業に対して気候変動によって受ける影響を「ガバナンス」「リスク管理」「戦略」「指標と目標」で開示することを求めたもの。

サステナビリティ推進体制



EMS(環境マネジメントシステム)の運用

サステナビリティ推進体制のなかに、環境担当役員をトップマネジメントとしたEMS推進体制を構築しています。社内の業務効率化によるエネルギー削減の取り組みや、環境関連の法令や条例を遵守し、環境に影響を及ぼす事故や汚染を未然に防止するため、EMS実施責任者、EMS実施者を配置し、EMS内部監査員での監査を実施、環境委員会にて計画や活動報告を行い、脱炭素社会の実現に向けて、全社で改善に取り組んでいます。

その他、環境負荷軽減への取り組み

- 省エネ性の高い機器の導入(旧型の空調機やサーバーの入れ替え)
- 高効率の熱源設備の利用や省エネ対策の実施
- 法令や条例に基づく排水、廃棄物、騒音等の対策
- 全国のオフィスでライトダウンキャンペーンの参加



Column

地域貢献と環境美化活動

千代田区は区の条例に基づき毎年6月6日と11月6日を「千代田区一斉清掃の日」と定め、区の清掃活動や環境美化に関する啓蒙活動を実施しており、当社も毎年参加し、秋葉原ビル周辺の清掃を行っています。

2021年は、空き缶や不織布マスクなどが散見され、コロナによる影響がみられる活動となりました。



(注)環境関連のデータは、P23「非財務情報データ」を参照ください。